



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第149号
令和6年1月19日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com



年頭のごあいさつ あらかわ まさかつ 社会福祉法人いわき市社会福祉協議会 会長 荒川 正勝

市民の皆さまには、清々しい新年をお迎えのことと存じます。

また、日ごろ、本会の福祉活動に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年9月に発生した台風第13号に関連した大雨により甚大な被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。

本会では、発災直後から情報収集と災害ボランティアセンターの開設などを行い、復旧に向けた活動を行って参りましたが、被災された方々のニーズが日々変化していくなかで、あらためてお互いに助け合い、支え合うコミュニティの重要性を強く感じました。

このようなことを踏まえて、引き続き、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」を目指すべく、生活支援活動により一層力を入れるとともに、地域における強固な福祉コミュニティの構築に向け、皆さまの御支援を賜りながら様々な地域福祉活動を展開して参りたいと考えておりますので、御協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまの益々の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

目次

年頭のごあいさつ	1
令和5年台風第13号における いわき市災害ボランティアセンターの取組みについて	2～3
住民支え合い活動づくり事業 住民支え合い事業	4～5
社協通信	6～7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

令和5年台風第13号におけるいわき市災害ボランティアセンターの取組みについて

台風第13号により、いわき市では約1700世帯の床上浸水や土砂災害等甚大な被害を受けました。

本会では、いわき市からの要請により、9月10日から12月8日まで、いわき市災害ボランティアセンターを開設し、市内外からのボランティアの皆さまをはじめ、NPOや災害支援団体、企業及び社会福祉協議会など多くの皆さまの支援を受け、復旧・復興に向けた被災者支援活動を実施してきました。

活動の経過

9月10日（日）	いわき市災害ボランティアセンター 開設 被災者からの相談受付開始
9月11日（月）	災害ボランティア活動開始 勿来地区サテライト 開設（10月15日 閉所）
9月14日（木）	被災者情報共有会議への参画（全3回）
9月16日（土）	内郷内町立町サテライト 開設（10月10日 閉所） 内郷宮町サテライト 開設（10月8日 閉所） 内郷宮町金坂サテライト 開設（9月24日 閉所）
9月24日（日）	内郷内町前田サテライト 開設（10月14日 閉所）
9月26日（火）	内郷白水サテライト 開設（10月14日 閉所）
9月29日（金）	戸別訪問（ローラー）調査の実施
10月12日（木）	被災者向け家屋保全講習会への協力 （全7回・10月31日まで）
10月17日（火）	ふくみちゃんカフェ（サロン）開始（継続中） 支援者向け「豪雨災害時の技術者養成講座」の参加 及び協力（座学編2回・実技編2回）
11月1日（水）	週末型の災害ボランティアセンターへ移行
12月8日（金）	いわき市災害ボランティアセンター 閉所

ボランティア活動者数（延べ人数）

	県内	県外	合計
9月	2,831	903	3,734
10月	840	712	1,552
11月	23	31	54
合計	3,694	1,646	5,340

主な活動内容

- 被災家屋の片付け、家具の移動など
- 水害ゴミの分別及び集積所までの運搬、泥出しなど



対応済みニーズ数

地区	件数
平	14
小名浜	2
勿来	36
常磐	41
内郷	667
遠野	2
小川	5
好間	38
合計	805



被災家屋からの家財の運び出し



地域の方々と側溝の泥出し

戸別訪問(ローラー)調査の実施

被災者に寄り添った支援のため、被災地域を中心に社協職員と市職員により、必要な情報提供と制度の説明、生活状況とボランティア作業の確認等を行いました。

- 訪問調査エリア 平・小名浜・勿来・常磐・内郷・小川・好間
- 訪問期間 令和5年9月29日から10月26日まで
- 訪問世帯数 3,767世帯



サロン活動の支援

災害支援ネットワークIwakiとの共催により、被害が多かった内郷地区を中心にふくみちゃんカフェ(サロン)を開催しています。

- 開催内容 家屋保全についての講習会及び相談会
地域住民の交流の場づくり
- 開催場所 内郷地区(白水・宮・金坂・内町立町・内町前田・綴)内の集会所等



主な連携・協働団体

福島県内	いわき市ボランティア連絡協議会	いわき青年会議所
	災害支援ネットワークIwaki	BOND&JUSTICE
	天理教福島教区災害救援ひのきしん隊	ライオンズクラブ国際協会332-D(福島)
	ONE STEP	
福島県外	IVUSA(国際ボランティア学生協会)	OPEN JAPAN
	技術系災害ボランティアネットワーク DRT JAPAN	コミサビひろしま
	災害エキスパートファーム DEF TOKYO	災害NGO 結
	災害復旧支援ボランティアチームふじさん	サイボウズ株式会社災害支援チーム
	支援P(災害ボランティア活動支援プロジェクト会議)	JVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)
	全国曹洞宗青年会	日本財団災害事業チーム
	ピースウインズ・ジャパン	BIG UP 石巻
	ボ活(日本財団ボランティアセンター)	レスキューアシスト



50音順 敬称略

今後の被災者支援に向けて

災害支援ネットワークIwakiは、災害時の中間支援組織として平時からいわき市といわき市社会福祉協議会との連携を密にして、顔の見える関係を築いています。

この災害では、いわき市災害ボランティアセンターの運営支援を行いながら、市内外の様々な支援者と被災地・被災者への橋渡しを行ってきました。

今後も、「被災者中心・地元主体・協働」の三原則を基本にいわき市といわき市社会福祉協議会と連携を図りながら被災地域の復旧・復興に携わっていきます。

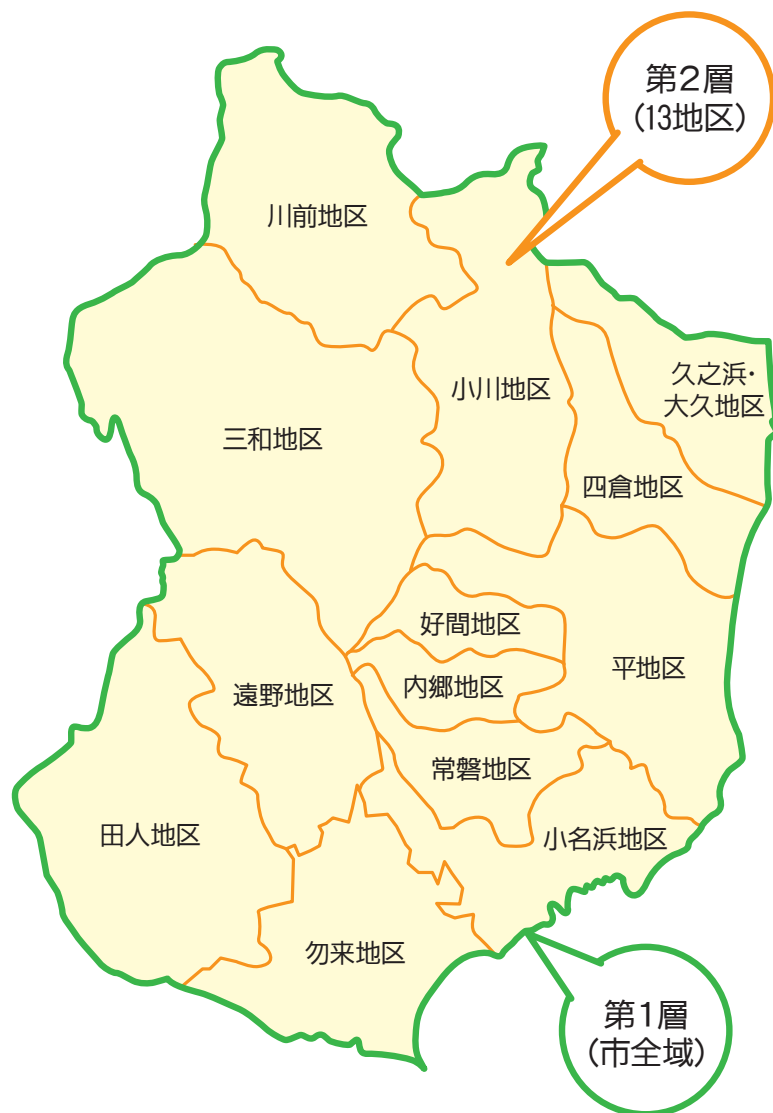


災害支援ネットワークIwaki
まのめ かずひろ
代表 馬目 一浩 氏

ご支援をいただきました地域、企業、団体、NPOなどの皆さま。ありがとうございました。

● Facebook (<https://www.facebook.com/iwaki.shakyo/>)

詳しくは、ボランティア活動センター ☎38-6631まで



住民支え合い活動づくり事業 住民支え合い事業

団塊の世代が75歳以上となる二〇二五年に向けて、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を進める必要があります。そのためには専門職だけではなく、地域住民同士の助け合いや地域とのつながりによる「住民支え合い活動」が重要となっており、本市では地域の支え合いの体制づくりを推進していくため、第1層（市全域）、第2層（13地区）、第3層（行政区・自治会等）協議体をそれぞれ設置しています。

いわき市における協議体とは？

第1層協議体は、市全体の高齢者等への生活支援サービス事例を集約・共有し、課題を検討しています。また、地域資源やニーズを把握し、住民支え合い活動の実践者や専門職など、関係者のネットワーク化を行うとともに、活動への理解促進のため広く情報発信を行います。

第2層協議体は、13地区に設置し、地区内の福祉ニーズの把握や、住民支え合い生活支援サービスの実施状況等について、ボランティア団体、民間企業、NPO法人、福祉施設等が集まり、定期的に意見交換等を行います。

第3層協議体は、行政区・自治会等51か所に設置し、地域住民や関係機関等と協働しながら、住民が抱える生活課題の把握を行い、生活に不安を抱える方々の見守りや支援する仕組みづくりを行います。

第1層協議体
(市全域)

連携

第2層協議体
(13地区に設置)

連携

第3層協議体
(行政区・自治会等に設置)

住民支え合い活動づくり事業 (第2層協議体)

市の事業委託を受けて、市内13地区に第2層協議体を設置し、それぞれの地区の住民支え合い活動の取組み状況や、地域ニーズの情報共有、意見交換等を行っています。今年度は8月から9月にかけて会議を開催し、事例を通じた意見交換を行い、各団体間の連携体制の強化、地域の課題の把握、新たな取組みの検討等を行いました。また、地域住民が共に支え合い、助け合うための仕組みとして「住民支え合い生活支援サービス」を実施しています。

住民支え合い事業
(第3層協議体)

現在、市内51か所で、地域住民の身近な生活圏域となる行政区・自治会等に住民組織（第3層協議体）を設置しています。

住民組織では、地域住民の声を聴きながら地域の課題の把握等に努めるとともに、高齢者宅への見守りや声かけ訪問、居場所づくりや生活支援等、地域住民が主体となつて様々な活動を行っています。

また、災害時に備え、住民同士による支援の在り方について話し合いを進めております。

お困りごとはありませんか？

高齢者や障がい者などの皆さんが、日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い、助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しております。

ゴミ出しや電球交換などお困りの方は、お住まいの地域の各地区協議会まで、お気軽にご相談ください。

また、お手伝いにご協力いただける方（サポーター）も募集しております。

住民支え合い生活支援サービスの仕組み

困りごと相談・サポーター登録窓口
いわき市社会福祉協議会
地区協議会

1 困りごと相談
サービスの利用申込

2 生活状況の確認(訪問)

3 サービスの利用決定

4 サービスの提供依頼

5 サービスの提供

6 活動状況の報告

高齢者
など

支え合い
サポーター

第3層協議体実施地区

(地区指定期間:令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

地区名	実施地区（愛称）	地区名	実施地区（愛称）
平 (3)	平第24区（城山結いの会）	遠野 (12)	下滝地区（住民支え合い会）
	平第48区（愛結いの会）		関屋・落合地区（関屋・落合ふれあい会）
	六十枚区		西根地区（西根安心サポート隊）
小名浜 (5)	玉川町西区（お助け隊）		前田地区（前田住民支え合い会）
	永崎区（ふれあい会）		深山田地区（深山田なごみの輪）
	玉露1・2区（玉露高齢者見守り隊）		上遠野区（結の和会）
	岡小名第一東区		上遠野区（やまびこ会）
	上神白地区（お互い様）		入上・中野天王地区（高齢者見守り隊）
勿来 (4)	南台1・2区（南台ひまわり会）		根岸行政区
	関田区（関田ふれあい隊）	小川 (4)	塩田地区
	九面区（九面ささえ愛）		山ノ入・淵沢地区
	金山西・金山南区（金山すずらん会）		江田・牛小川地区
常磐 (3)	下船尾地区（船尾いきいきサポーターの会）	好間 (4)	高萩地区
	上川地区（ほほえみの会）		田代・沼平地区
	斑堂団地自治会		北二区（北二区ひだまり会）
内郷 (5)	高坂9区（高坂9区つどいの会）		椎木平地区（福寿会）
	高野町1・2区（寄っかの会）	田人 (3)	中好間区
	宮1区（おしゃべりサロン宮1区）		入旅人大字区（わが町協力隊289）
	高坂7区（高坂7区助っ人クラブ）		貝泊区（貝泊山ぼうしクラブ）
	宮12区（鬼力フェ）	川前 (2)	荷路夫区（明神見守り隊）
四倉 (3)	新町地区（新町笑顔の会）		山下谷地区
	梅ヶ丘南地区（21区ニコニコ会）	久之浜・大久 (3)	沢尻地区
	5・9区（仲町おたがいさまの会）		西町1区（西町1区ふれあい協議会）
遠野 (12)	上根本地区（上根本住民支え合い会）		中町地区（中町ふれあい協議会）
	入定地区（入遠野1区徳溢会）	計	東町地区（東町あざみの会）
	東山地区（東山行政区さわやか応援隊）		51地区

※令和5年度新規指定地区は太字

⑤ いわき市社協だより 2024.1

第49回

いわき市総合社会福祉大会を開催しました!

社協通信



【市長感謝】 4名
【大会会長表彰】 71名 1団体
【大会会長感謝】 8名 4団体

大会の席上、本市の福祉の向上発展に功労のあった方々へ表彰を行うと共に講師に高橋美江氏をむかえ、「わたしのヤングケアラー ～障がいのある両親の元に生まれて～」と題し、記念講演を行いました。

福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、市の福祉を総合的に高めていく「いわき市総合社会福祉大会」（主催＝いわき市・いわき市社会福祉協議会）を、令和5年11月22日（水）いわき芸術文化交流館アリオスで開催しました。

第77回 福島県社会福祉大会が福島市で開催されました!

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第77回福島県社会福祉大会」が令和5年11月17日（金）パルセいいざかで開催されました。式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々への表彰が行われました。

【知事感謝】 8名
【大会会長表彰】 49名
【大会会長感謝】 3名 2団体

教育支援資金のご案内

社会福祉協議会では、高校、専門学校、短大、大学等の進学にあたって経済的に
お困りの方に、生活福祉資金の「教育支援資金」の貸付を行っています。



◆ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下で、他の貸付制度（国の教育ローン・母子父子寡婦福祉資金・日本学生支援機構の奨学金など）を利用することが困難な低所得世帯

- ◆貸付利子 無利子
- ◆借受人 実際に就学する方
- ◆連帯借受人 原則として同一世帯の生計中心者
- ◆連帯保証人 原則として、65歳以下の収入のある県内居住者
- ◆償還期間 卒業後6か月以内の据置期間経過後、20年以内

貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	修学に必要な経費 授業料・参考書・学用品・交通費(通学定期代)・アパート家賃など	①高等学校(専修学校高等課程含む) 月額35,000円以内 ②高等専門学校 月額60,000円以内 ③短期大学(専修学校専門課程) 月額60,000円以内 ④大学 月額65,000円以内
	入学に際し必要な経費 入学金・制服・教科書等の入学時に学校に納入する経費	500,000円以内

お問い合わせはお住まいの
地区の地区協議会まで

地区名	お問い合わせ先	電話番号
平	平地区協議会	22-6441
小名浜	小名浜地区協議会	54-2111(代)
勿来	勿来地区協議会	63-2111(代)
常磐	常磐地区協議会	43-2111(代)
内郷	内郷地区協議会	27-8707
四倉	四倉地区協議会	32-2114(代)
遠野	遠野地区協議会	89-2111(代)
小川	小川地区協議会	83-1111(代)
好間	好間地区協議会	36-2221(代)
三和	三和地区協議会	86-2111(代)
田人	田人地区協議会	69-2111(代)
川前	川前地区協議会	84-2111(代)
久之浜・大久	久之浜・大久地区協議会	82-2111(代)

生活・就労支援センター

生活・就労支援センターでは、生活や仕事のことなどでお困りの方からの相談を受け、困りごとの解決に向けて、一人ひとりの生活状況に合わせた支援先の紹介を行ったり、支援プランを作成する等、継続的なサポートを行っています。

どんなことでも相談してください。



仕事が
見つからない



引きこもりの子どもの
将来が不安



借金の返済で
生活が苦しい



お金がなくて
病院に行けない



収入がなく
家賃が払えない

課題解決に向けて各種支援関係機関と連携しながら支援します。

お問い合わせ先 生活・就労支援センター ☎38-6500まで

✉ seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

くらしのあんしんをおてっだい! あんしんサポート

● あんしんサポート（日常生活自立支援事業）とは？

判断能力が十分でなくなってきた方（例えば、認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助を行う事業です。

主なサービスの内容

- * 福祉サービスを利用または利用をやめるために必要な手続きをします。
- * 福祉サービスの利用料を支払う手続きをします。
- * 銀行などに行って、日常生活に必要なお金の出し入れを支援します。
- * 通帳や印鑑など大切な書類をお預かりし、貸金庫など安全な場所で保管します。

通帳などを
しまった場所を
忘れてしまう
ことがある

福祉サービスの
手続きが
わからない

計画的にお金を
使いたいけれど、
うまくいかない



利用料

1回1時間あたり1,200円 1時間を超えた場合は30分ごとに400円加算されます。

お問い合わせ先 生活支援課 ☎23-3320(代)まで

福祉の仕事をめざすあなたと福祉の職場を結びます

「福祉の職場で働いてみたい!」「資格取得方法を知りたい!」そんな方は気軽にご相談ください。

福祉の仕事相談会 求職登録の受付や各種相談に応じます。

- ◆ 日 時 毎月第2水曜日 10:30~14:30
- ◆ 会 場 いわき市社会福祉センター（いわき市菱川町1番地の3）



お問い合わせ先 福島県社会福祉協議会 人材研修課 福祉人材センター ☎024-521-5662まで

✉ jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

平地区協議会 (青少年福祉体験学習)



障がいをもった方に対して、思いやりの心を育むことを目的に、令和5年9月15日、赤井小学校4年生47名を対象に開催しました。

当日は、手話学習講座を行い、障がいを持った当事者と手話サークルの方から、言葉を手話で表すことの意味や指文字などを教えていただきました。

参加した児童たちは、表情や手の動きを見ながらコミュニケーションの1つである手話を真剣に学んだようでした。

◆詳しくは、平地区協議会 ☎22-6441まで

常磐地区協議会 (湯～らり温泉めぐり)



地区内の65歳以上高齢者を対象に、湯本温泉旅館4か所の協力のもと、高齢者が交流する場として新たな仲間づくりや生きがいをづくり社会参加の促進を図ることを目的に「湯～らり温泉めぐり」を開催しています。

この事業は、月2回開催し、温泉に入ってゆったり過ごしたり、簡単な体操や季節に合わせた行事等を行ったりしながら、参加者同士の交流を深めています。

◆詳しくは、常磐地区協議会 ☎43-2111代まで

川前地区協議会 (歳末たすけあい友愛訪問)



地区内の75歳以上の一人暮らし高齢者と80歳以上の高齢者夫婦88名を対象に、11月16日、川前地区民生委員・児童委員協議会の協力のもと「歳末たすけあい友愛訪問」を実施しました。

訪問時は、シクラメンの鉢植えと福祉情報誌を配布しながら、声かけや健康状態の確認、また困りごと相談等を行い、シクラメンを受け取った方からは「毎年、この行事を楽しみにしています。」との声が聞かれました。

◆詳しくは、川前地区協議会 ☎84-2111代まで

久之浜・大久地区協議会 (ひとり暮らし高齢者招待事業)



地区内の65歳以上の一人暮らし高齢者106名を対象に、11月3日、久之浜・大久地区民生委員・児童委員協議会の協力のもと、住民同士の交流を深めることを目的に開催しました。

この事業は、地域の民生児童委員が事前に市民文化祭のお楽しみ券を配布し、健康状態の確認や困りごと相談等を行い、また、当日は参加者へ赤飯とみかんを配布しながら、一緒に民謡や舞踊を観覧してもらい、楽しい1日を過ごしました。

◆詳しくは、久之浜・大久地区協議会 ☎82-2111代まで



編集後記

令和5年台風第13号豪雨被害において、本会では災害ボランティアセンターを設置し、市民の皆さまをはじめ、県内外から多くの方がボランティアに参加いただきました。改めて、ボランティアを通して生まれる「人の力」の大きさを実感することができました。

広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市協
ホームページ